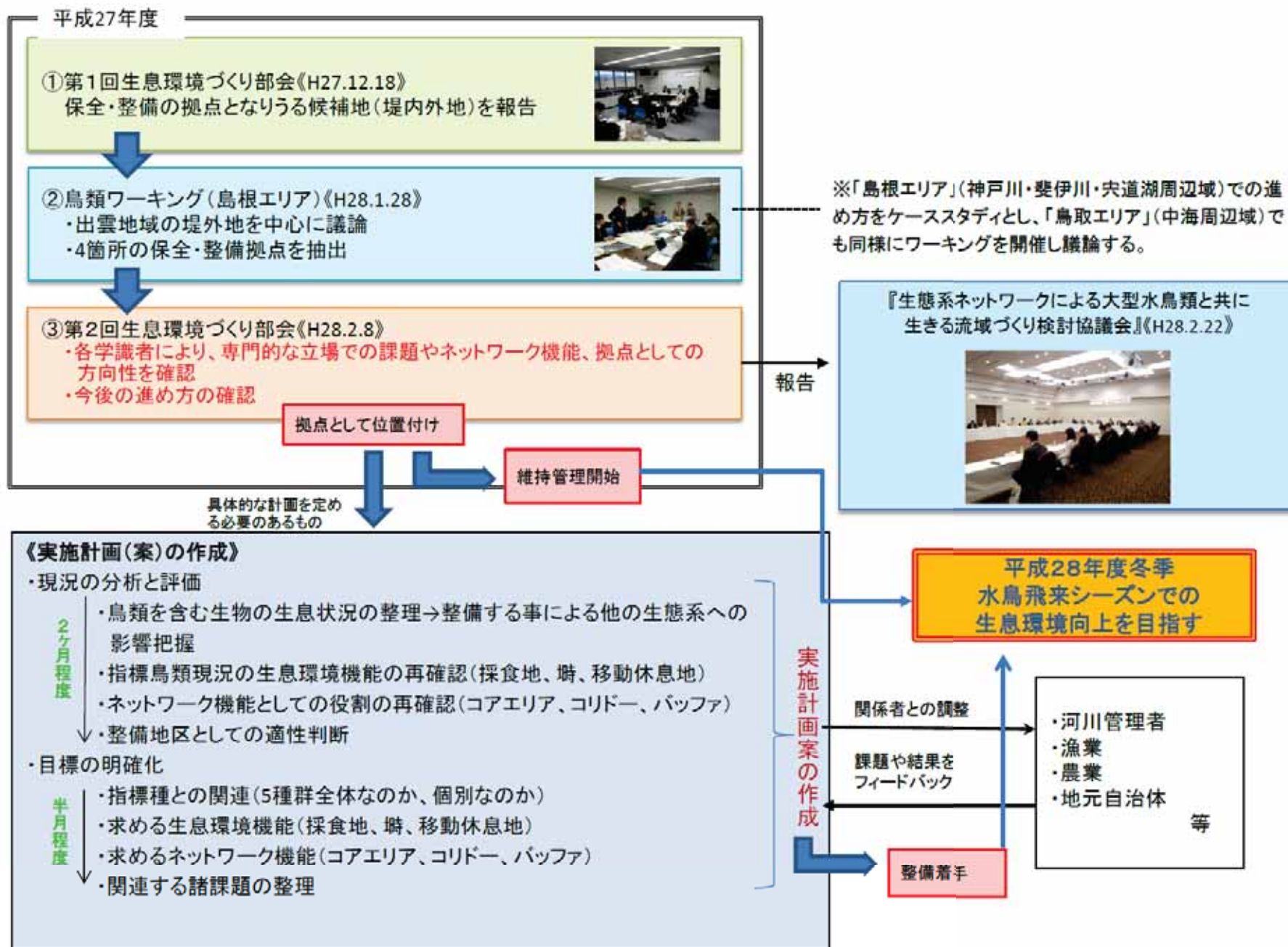


生態系ネットワークによる保全・整備の拠点(出雲地域)について

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会
生息環境づくり部会

1. 生態系ネットワーク保全・整備拠点事業地区の選定について



■斐伊川流域生態系ネットワーク全体構想図（案）1/2

指標：ガン・ハクチョウ類（マガン/ヒシクイ/コハクチョウ/オオハクチョウ）

→現況安定生息種

凡例

- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

<堤外地>河川区域一国や県の河川管理者を主な事業主体として想定一

- 既存中核地「現況保全エリア」
- 潜在中核地「整備適性エリア」

<堤内地>水田地帯一自治体や民間団体等を主な事業主体として想定一

- 既存中核地「現況保全エリア」
- 潜在中核地「整備適性エリア」

↔ 移動中継ルート（既存）

↔ 移動中継ルート（潜在）

堤内生息地/水鳥観察活動拠点①

- 穴道湖グリーンパーク<出雲市>
- ・ホシザキグリーン財団による野鳥観察の専門施設
- ・隣接する水田は冬には水が張られ、ハクチョウ類やガン類が飛来し、休息する姿が観察できる

堤内生息地/水鳥観察活動拠点②

- ラムサール田んぼの会
- 下古志ファーム13<松江市>
- ・ハクチョウ越冬地である当地において、冬期湛水、無農薬・無化学肥料による稲作を実施し、「湖北はくちょう米」をブランド化し販売

堤外生息地/水鳥観察活動拠点④

- 米子水鳥公園<米子市>
- ・彦名干拓地に、市が整備した28haにおよぶ湿地公園
- ・ネイチャーセンターからは、コハクチョウやマガンの大群が観察できる

堤内生息地/水鳥観察活動拠点③

- ファーム宇賀荘・のき白鳥の里<安来市>
- ・無農薬・無化学肥料で栽培し、冬には冬期湛水を実施する「どじょう米」をブランド化し生産・販売
- ・「白鳥ロード」と名付けられた広域農道沿いに、ハクチョウ観察施設を併設した「のき白鳥の里」を整備

「生息環境整備」・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のために必要となる「採食地」「巣」「休息・中継地」「営巣地」等の各機能を確保するために、生息環境の保全・再生や社会条件整備等の様々な取組み。

「現況保全エリア」・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のための「採食地」「巣」「休息・中継地」等の自然的・社会的な条件が既に一定程度整っており、その状況の維持・改善を優先するための取組が求められるエリア。

「整備適性エリア」・・・指標鳥類の生態的な特性や飛来地域の環境条件等から、「採食地」「巣」「休息・中継地」等の各機能にふさわしい生息環境を新たに再生・創出・管理することで、より持続的・安定的な生息が想定されるエリア。

※「現況保全エリア」および「整備適性エリア」の適地決定に当たっては、堤外地は出雲河川事務所による斐伊川水系河川整備計画や穴道湖・中海ヨシ原再生、浅場造成事業等に基づいて検討。堤内地は、自治体や環境NPO等による関連環境施策・活動等を参考に検討する。いずれも過去の指標鳥類の遡来履歴と現況の自然的・社会的な条件を重視した資料整理を行い、専門部会・ワーキング・協議会等において意見交換と合意形成を図る。



■斐伊川流域生態系ネットワーク全体構想図（案）2/2

指標：ツル・コウノトリ類（マナヅル/ナベヅル/コウノトリ）

→現況散発飛来種

凡例

	直轄河川区域
	河川・湖沼・海
	水田
	市街地等

マナヅル・ナベヅル・コウノトリが共に飛来記録のある潜在生息地区（1980～2015年）

■野鳥観察活動拠点施設

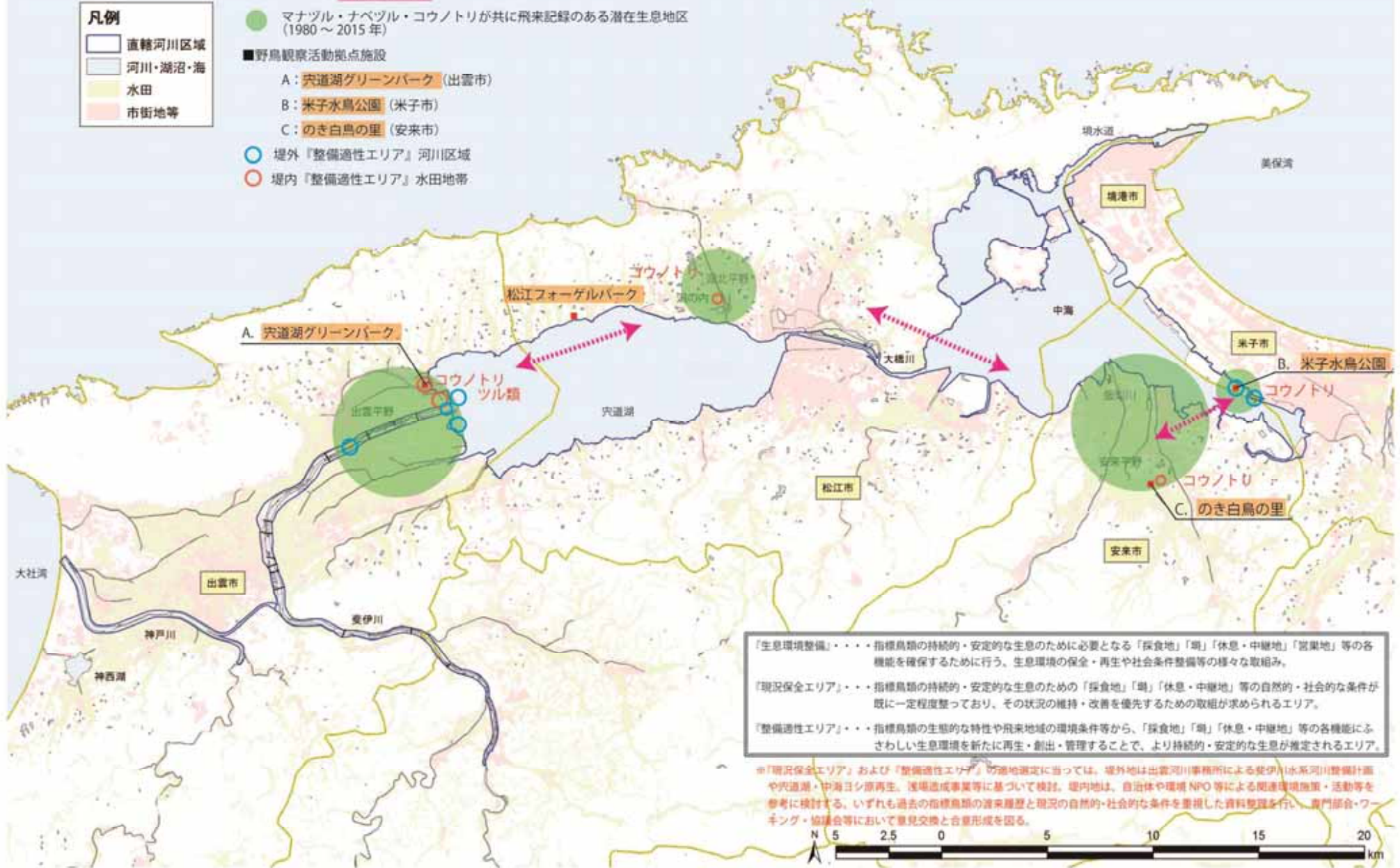
A: 穴道湖グリーンパーク（出雲市）

B: 米子水鳥公園（米子市）

C: のき白鳥の里（安来市）

堤外『整備適性エリア』河川区域

堤内『整備適性エリア』水田地帯



『生息環境整備』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のために必要となる「採食地」「巣」「休息・中継地」「営巣地」等の各機能を確保するために行う、生息環境の保全・再生や社会条件整備等の様々な取組み。

『現況保全エリア』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のための「採食地」「巣」「休息・中継地」等の自然的・社会的な条件が既に一定程度整っており、その状況の維持・改善を優先するための取組が求められるエリア。

『整備適性エリア』・・・指標鳥類の生態的な特性や飛来地域の環境条件等から、「採食地」「巣」「休息・中継地」等の各機能にふさわしい生息環境を新たに再生・創出・管理することで、より持続的・安定的な生息が推定されるエリア。

※「現況保全エリア」および「整備適性エリア」の適地選定に当たっては、堤外地は出雲河川事務所による斐伊川水系河川整備計画や穴道湖・中海ヨシ原再生、運場造成事業等に基づいて検討。堤内地は、自治体や環境NPO等による関連環境施設・活動等を参考に検討する。いずれも過去の指標鳥類の渡来履歴と現況の自然的・社会的な条件を重視した資料整理を行い、専門部会・ワーキング・協議会等において意見交換と合意形成を図る。



場 所	内 容	エリア区分		行政区分	指標大型水鳥類					河川区域内での主な整備および保全事例の概要	
		整備適性	現況保全		ハクチョウ類	ガン類	ツル類	コウノトリ	トキ		
出雲平野西部域	神戸川【堤外地】	1.神戸川河口左岸	●		出雲市	○					河岸捨石護岸部へのマコモ植栽による採食地の再生整備
		2.神戸川右岸1k~7.5k高水敷	●		出雲市				○	○	高水敷除草管理地への樹林化抑制を兼ねた湿地の整備
		3.神戸川左岸2k~7.5k高水敷	●		出雲市				○	○	高水敷除草管理地への樹林化抑制を兼ねた湿地の整備
		4.神戸川右岸人工ワンド	●	●	出雲市	○			○	○	河岸浅瀬の創出とマコモ植栽等による採食地の整備
		5.神戸川境橋上流~神戸堰	●	●	出雲市	○	○	○	○	○	○
出雲平野東部域	斐伊川【堤外地】	1.斐伊川河口左岸出島地先	●		出雲市	◎	○	○	○	○	河口浚渫土等を用いた干潟・浅場再生による採食地・ねぐら等の整備
		2.斐伊川左岸河川敷公園周辺	●		出雲市	○	○	○	○	○	公園下流荒廃地への湿地再生による大型水鳥類生息観察拠点の整備
		3.斐伊川右岸北神立橋上	●		出雲市				○	○	高水敷荒廃地への採食地等となる浅水域・湿地の整備
		4.斐伊川中流樹木伐開区)	●		出雲市	○	○	○	○	○	高水敷樹林繁茂地への伐採・伐根を兼ねた湿地の整備 (地区非特定)
		5.斐伊川河口~1.5k区間		●	出雲市	◎	◎	◎	○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・高茎草地等の保全管理 河川管理工事等との調整
		6.斐伊川2k~4k区間		●	出雲市	◎	◎		○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
		7.斐伊川4.5k~6k区間 西代橋下流		●	出雲市	◎	◎	◎	○	○	河道内の中州・浅場と高水敷の牧草地・低茎草地・水路等の保全管理 河川管理工事等との調整
		8.斐伊川6k~9k区間		●	出雲市	◎	◎	◎	○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
		9.斐伊川9k~10k区間 公園下流		●	出雲市	◎	◎	◎	○	○	河道内の中州・浅場と高水敷の低茎草地・水辺樹林等の保全管理 河川管理工事等との調整
		10.斐伊川11k~11.8k区間		●	出雲市	◎	◎		○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
		11.斐伊川12.8k~13.4k区間		●	出雲市	◎			○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
		12.斐伊川17.6k~18.8k区間		●	出雲市	◎			○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
		13.斐伊川20.5k~21.5k区間		●	出雲市	◎			○	○	河道内の中州・浅場・ワンドと高水敷のたまり・低茎草地等の保全 河川管理工事等との調整
宍道湖【堤外地】	宍道湖北岸(園町・鹿園寺町)地区	14.宍道湖北岸(園町・鹿園寺町)地区	●	●	出雲市	◎	◎		○	○	既存のヨシ植生湖岸の改良と目隠し植栽による採食地・休息地の整備 河川管理工事等との調整
		15.宍道湖西岸ヨシ浅場造成区②	●	●	出雲市	◎			○	○	既存のヨシ植生湖岸の改良による採食地・休息地の整備 河川管理工事等との調整
		16.宍道湖西岸ヨシ浅場造成区③	●	●	出雲市	◎			◎	○	既存のヨシ植生湖岸の改良による採食地・休息地の整備 河川管理工事等との調整
		17.宍道湖西岸ヨシ浅場造成区④	●	●	出雲市	○			○	○	既存のヨシ植生湖岸の改良による採食地・休息地の整備 河川管理工事等との調整
市松域江	宍道湖北岸・潟の内隣接区	1.宍道湖北岸・潟の内隣接区	●	●	松江市	○			○	○	宍道湖北岸エリア(L=1.8km)内に採食地等となる浅場造成地を整備 湖岸堤防整備等との調整
		2.宍道湖南岸・柳井隣接区	●	●	松江市	○			○	○	宍道湖南岸エリア(L=2.3km)内に採食地等となる浅場造成地を整備 湖岸堤防整備等との調整
		3.中海西岸・大橋川河口隣接区	●	●	松江市	◎			○	○	既存のヨシ植生湖岸の改良による採食地・休息地の整備 河川管理工事等との調整
安境来港・米域子	中海【堤外地】	1.中海・彦名浚渫土処理地	●		米子市	○	○	○	○	○	中海浚渫土の処理地(約11.7h)に再生した湿地環境を活用整備
		2.中海・弓ヶ浜浅場整備計画地	●		境港市	○			○	○	中海東岸エリア(L=1.3km)内に採食地等となる浅場造成地を整備
		3.中海・飯梨川河口	●	●	安来市	◎		○	○	○	河口浚渫土を用いた干潟・浅場拡大による採食地・ねぐらの整備 河川管理工事等との調整
		4.中海・米子水鳥公園	●	●	米子市	◎	◎	○	○	○	(公園運営管理主体による保全・整備の継続)

計29地区

◎: 既存生息・飛来地(採食地・ねぐら・休息地) ○: 目標生息地(採食地・ねぐら・休息地・繁殖地)

■ 鳥類ワーキング(鳥根エリア)における拠点整備事業地区選定地 ■ 鳥類ワーキング(鳥根エリア)において議論された拠点地区

場 所	内 容	エリア区分		行政区分	指標大型水鳥類					既存取組の有無			堤内地での主な取組と整備および保全の概要	
		整備適性	現況保全		ハクチョウ類	ガン類	ツル類	コウノトリ	トキ	直接	関連	無し		
出雲平野西部域	神戸川 【堤内地】	1.出雲大社・社叢地区	●	●	出雲市					○			■	大径木の保全育成、水辺環境整備、立入制限区域の設定等による営巣環境の改善 「漆原体験学習センター」等による水生動物が豊富な多自然池等の整備 野鳥観察舎・展望塔等は整備済。生物多様性水田づくりの導入・拡大 「NPO法人いずも朱鷺21」による減農薬ブランド米耕作の実施・拡大
		2.浜遊自然館周辺地区	●		出雲市					○		■		
		3.神西湖親水公園周辺地区	●	●	出雲市	○			○	○		■		
		4.いずも朱鷺21環境管理水田	●	●	出雲市					○	■			
出雲平野東部域	斐伊川 宍道湖 【堤内地】	1.斐伊川河口隣接出島地区	●	●	出雲市	◎	◎	◎	◎	○			■	休耕田・荒地への水辺環境・野鳥観察施設の整備。生物多様性水田づくりの展開 「宍道湖グリーンパーク」によるふゆみず田んぼの実施。生物多様性水田づくりの展開 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大
		2.宍道湖西岸隣接水田区①		●	出雲市	◎	◎	◎	◎	○	■			
		3.宍道湖西岸隣接水田区②		●	出雲市	◎	◎	◎	◎	○				
		4.宍道湖西岸隣接水田区③		●	出雲市	◎	◎	◎	◎	○				
		5.宍道湖西岸隣接水田区④		●	出雲市	◎	◎	◎	◎	○				
		6.斐伊川左岸隣接水田区①		●	出雲市	◎	◎	○	○	○				
		7.斐伊川左岸隣接水田区②		●	出雲市	◎	◎	◎	○	○				
松江市域	宍道湖 中海 【堤内地】	1.湖北平野・潟の内周辺水田	●	●	松江市	◎	○	○	○	○	■		「ラムサール田んぼの会」等によるふゆみず田んぼや減農薬ブランド米耕作の実施・拡大 「農事組合法人やない」によるふゆみず田んぼや不耕起ブランド米耕作の実施・拡大	
		2.宍道湖南岸柳井水田	●	●	松江市				○	○		■		
		3.大橋川河口北岸水田	●	●	松江市	◎	○	○	○	○		■		
安来市・米域子・	中海 【堤内地】	1.飯梨川・田瀬川河口周辺水田		●	安来市	◎	○	○	○	○		■	伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 ■ 伝統的な広域稲作水田の維持。生物多様性水田づくりの導入・拡大 「ファーム宇賀荘」によるふゆみず田んぼや減農薬ブランド米耕作の実施・拡大	
		2.吉田川周辺水田		●	安来市	◎	○		○	○		■		
		3.能義平野・白鳥の里周辺水田	●	●	安来市	◎	◎	○	○	○	■			

計17地区

◎: 既存生息地(採食地・ねぐら・休息地) ○: 目標生息地(採食地・ねぐら・休息地・繁殖地)

斐伊川水系生態系ネットワーク エコネット保全・整備拠点事業地区
候補地位置図 <出雲平野西部 1:40,000>

- 凡例
- 【域外地】
 - 国道
 - 高規格幹線道路
 - 【域内地】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 水鳥観察活動拠点
 - 歴史文化観光拠点
 - 直轄河川区域
 - 市町村行政界
 - インターチェンジ
 - 【域外】
 - 駅
 - 水城(小河川・水路・沢)
 - 水城(河川・湖沼・海)
 - 水田
 - 市街地等
 - その他
 - 樹林地

内-1 出雲大社・社宮地区

出雲大社

浜道自然館

内-2 浜道自然館周辺地区

外-1 神戸川河口左岸

外-4 神戸川右岸入工ワンド

神戸川境橋～神戸堰

外-2 神戸川右岸1k～7.5k

外-5 神戸川右岸ワンド

外-3 神戸川左岸2k～7.5k

外-8 神戸川右岸ワンド

外-7 神戸川左岸堤防たまり

外-6 神戸川左岸ワンド

内-3 神西湖御水公園周辺

神西湖

神西湖水公園

内-4 いずも栄第21環境管理水田

出雲市トキ学習センター・トキ分館教育センター

神戸川左岸ワンド先行施工区



斐伊川水系生態ネットワーク エコネット保全・整備拠点事業地区
候補地位置図 <出雲平野東部域 1:40,000>

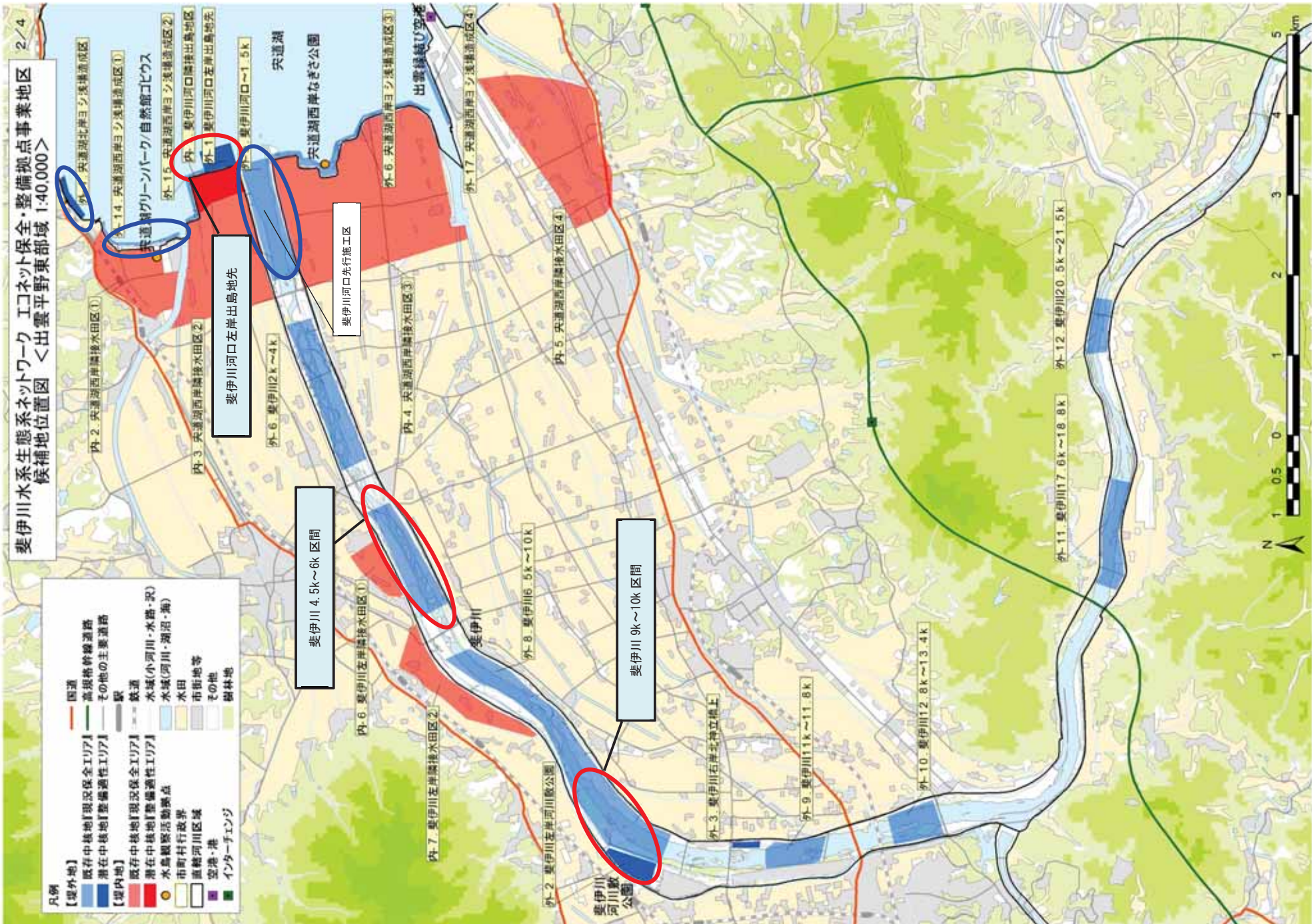
2/4

- 凡例
- 【域外地】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 【域内地】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 水鳥観察活動拠点
 - 市町村行政界
 - 直轄河川区域
 - 空港・港
 - インターチェンジ
 - 国道
 - 高規格幹線道路
 - その他の主要道路
 - 駅
 - 鉄道
 - 水域(小河川・水路・沢)
 - 水城(河川・湖沼・海)
 - 水田
 - 市街地等
 - その他
 - 樹林地

斐伊川河口左岸出島地先

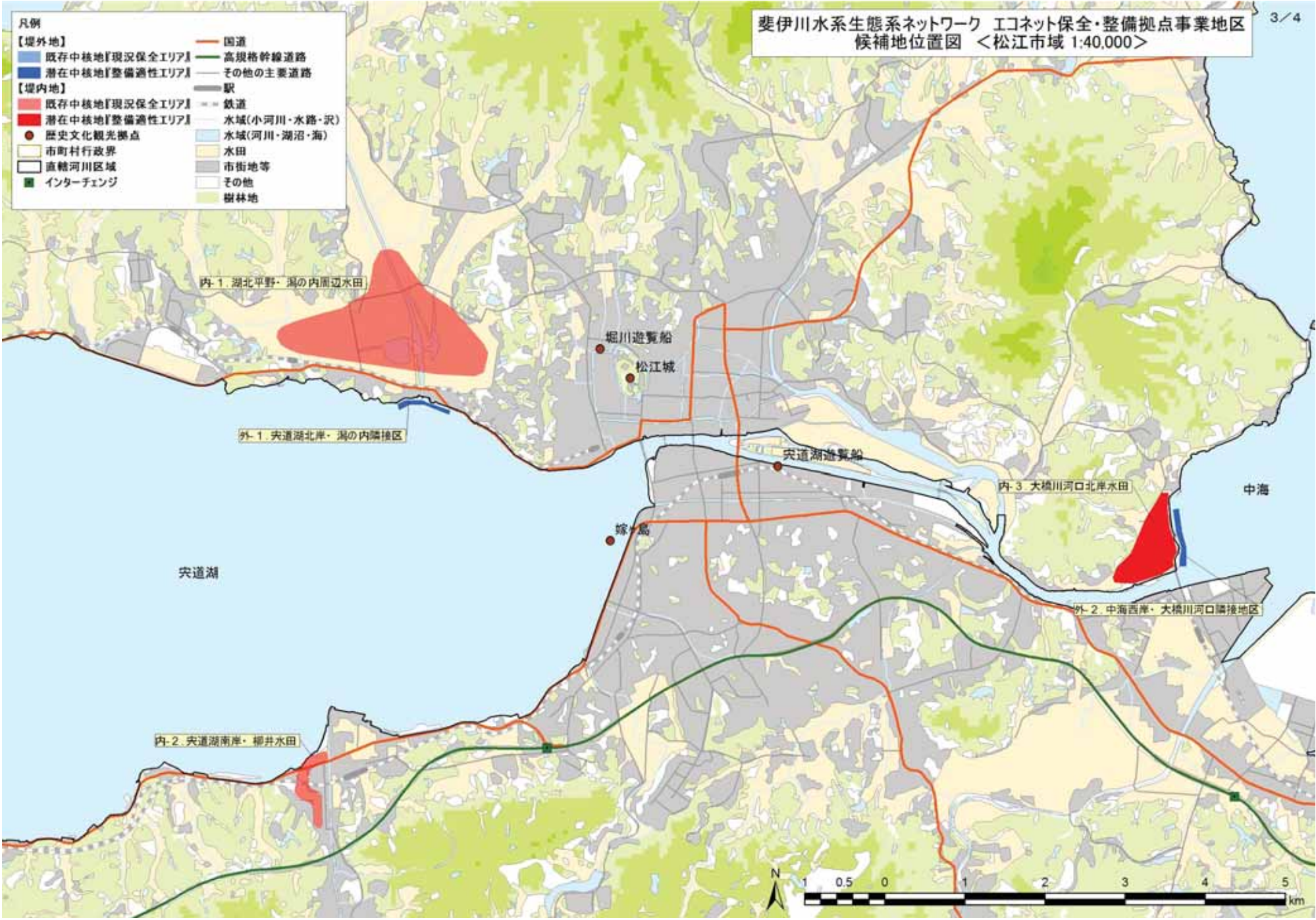
斐伊川 4.5k~6k 区間

斐伊川 9k~10k 区間



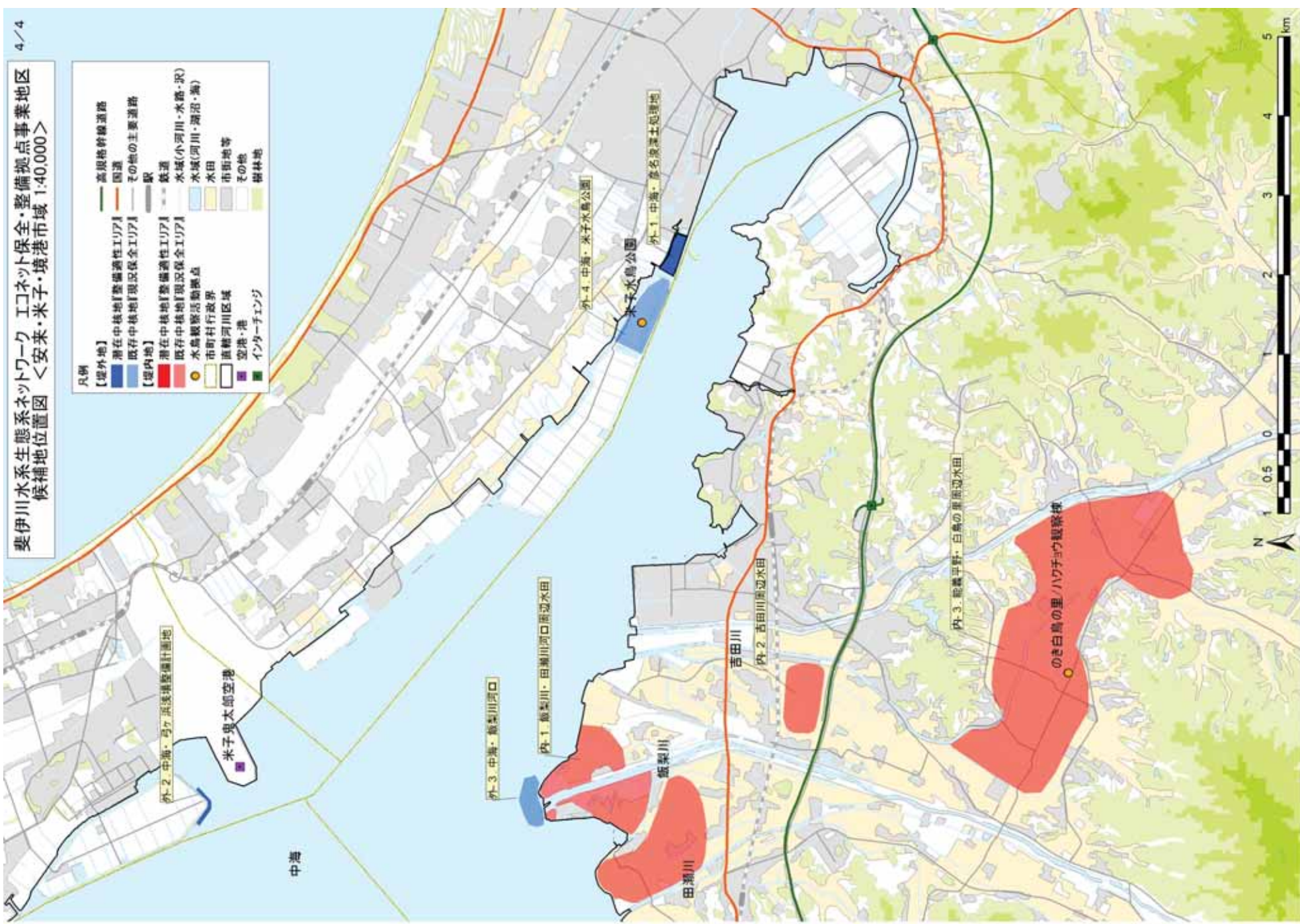
斐伊川水系生態系ネットワーク エコネット保全・整備拠点事業地区
候補地位置図 <松江市域 1:40,000>

- 凡例
- | | |
|------------------|----------------|
| 【堤外地】 | — 国道 |
| ■ 既存中核地【現況保全エリア】 | — 高規格幹線道路 |
| ■ 潜在中核地【整備適性エリア】 | — その他の主要道路 |
| 【堤内地】 | ● 駅 |
| ■ 既存中核地【現況保全エリア】 | — 鉄道 |
| ■ 潜在中核地【整備適性エリア】 | — 水域(小河川・水路・沢) |
| ● 歴史文化観光拠点 | ■ 水域(河川・湖沼・海) |
| □ 市町村行政界 | ■ 水田 |
| □ 直轄河川区域 | ■ 市街地等 |
| ■ インターチェンジ | ■ その他 |
| | ■ 樹林地 |



斐伊川水系生態ネットワーク エコネット保全・整備拠点事業地区
候補地位位置図 <安来・米子・境港市域 1:40,000>

- 凡例
- 【域外地】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 【域内地】
 - 潜在中核地【整備適性エリア】
 - 既存中核地【現況保全エリア】
 - 水鳥観察活動拠点
 - 市町村行政区界
 - 直轄河川区域
 - 空港・港
 - インターチェンジ
- 高規格幹線道路
 - 国道
 - その他の主要道路
 - 駅
 - 鉄道
 - 水域(小川川・水路・沢)
 - 水田(河川・湖沼・海)
 - 水田
 - 市街地等
 - その他
 - 樹林地

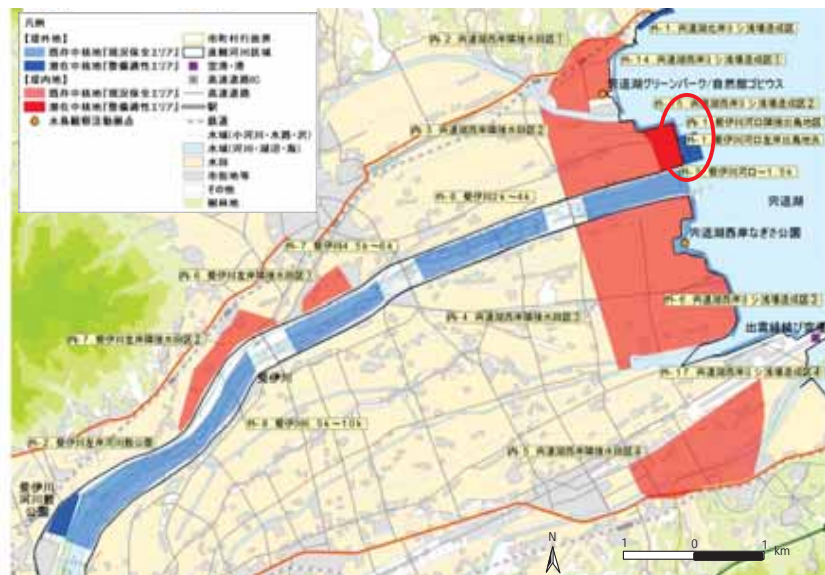


斐伊川水系生態系ネットワーク 保全・整備拠点事業地区 候補地検討シート 1/2

◎	堤外地	地区名称:斐伊川河口左岸出島地先	現況保全エリア・整備適性エリア	●関連環境施策・活動の実施状況	※国・県・市ノ民間団体・企業等の主体別連携可能性
	堤内地	地区名称:	現況保全エリア・整備適性エリア	・宍道湖沿岸部は、浅場整備によるヨシ植生帯が創出されている。	
	所在地等	島根県出雲市出島町	概ねの面積	未定	
	土地所有	官地(占有):占有なし	民地: 個人所有・法人所有		・隣接する出島地区の水田地帯は、マガン・ハクチョウ類をはじめとした主要野鳥生息地としてバードウォッチャーの観察フィールドとなっており、当該エリアの現況水面も堤防上からの観察ポイントのひとつになっている。
	事業・管理者	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所			
指標鳥類等の生息概要<現在>	ハクチョウ類	斐伊川河口隣接砂洲がコハクチョウの囀および休息地			
	ガン類	斐伊川河口隣接砂洲がマガンの囀および休息地			
	ツル類	-			
	コウノトリ	-			
	トキ	-			
	その他	-			
	ネットワーク機能	コアエリア【中核生息地】: 現況・潜在	コリドー【移動休息地】: 現況・潜在	●現地状況	
	生息環境機能	現況: 採食地・囀・移動休息地	潜在: 採食地・囀・移動休息地・営巣地		
自然環境条件	堤外地	水系: 神戸川・斐伊川・宍道湖・大橋川・中海・境水道・県管理(流水・中州・干潟泥湿地・浅水域・抽水植生帯・ワンド・池沼・低草地・水辺林公園:農地:その他:			・出雲空港滑走路延長事業時の代替水面確保として干拓地を掘削し、現況は宍道湖西岸浅水域となっている。 ・工事途中に、干潟や浅場水域等の多様な湿地環境が成立し、コハクチョウが囀や休息・避難地として利用していた他、飛来記録の少ない貴重種等が観察された経緯がある。 ・エリアの南側は斐伊川河口の砂洲が延びており、コハクチョウやマガンの飛来が見られ、湖岸域にはヨシの植生帯が広がる。
	堤内地	河川水路・池沼溜池・草地・樹林地 水田(慣行田・環境田*・休耕田・放棄田): 畑地: 公園: 施設: その他:			◎求められる整備内容と課題 【鳥類ワーキング(鳥根エリア)での意見】 ・かつての良好な湿地環境を再生し、宍道湖現況水面の維持を図りつつ、ハクチョウ・ガン・ツル類などの囀や休息地となる浅水湿地の創出が望ましい。 ・渇水期(冬季)に干潟状に陸化する湿地の創出が望まれる。 ・エリアの外周部に、波浪による土砂流出を抑制する島の設置が望ましい。 ・堤内・堤外のいずれかに、水鳥観察舎および駐車場・トイレ等の施設整備が望まれる。 ・維持管理に必要な重機等の出入りを予め想定した配慮や、水鳥への悪影響を与える場所への出入りを避ける立ち入り制限等も検討する。 【課題】 ・代替環境として、宍道湖現況水面の確保は前提条件。 ・シジミを始めとする他の生態系や漁業への影響との調整。
社会環境条件	都市開発関連計画	市街化区域・市街化調整区域・その他(非線引き区域等)			・斐伊川河口からの土砂移動の把握や堆積土砂に関する分析。
	公園緑地関連計画	都市公園・緑地保全等指定区域:指定等なし			・河川事業として実施する上での位置づけの検討。 ・鳥獣保護区特別保護地区に指定されていることから整備にあたっては、環境省の許可を得る必要
	農業農村関連計画	農業振興地域・農用地区域 田園環境整備マスタープラン等:設定なし			【対応】 ・水鳥観察舎や駐車場等の確保については、堤内地の利用状況を踏まえて確保。
	自然環境関連計画	ラムサール条件指定湿地:指定区域・指定地外 鳥獣保護区・鳥獣保護区特別保護地区・銃猟禁止区域・休猟区・可猟地域 鳥獣保護事業計画:第11次鳥獣保護管理事業計画(島根県、2015) 自然公園等指定区域:指定なし			・重機等の出入りに対した配慮を徹底し、立ち入り制限的なソフト対策も関係者合意を得て実施を行う。 ・多くの関係者間での合意が必要と考えられる浅水湿地等の整備については「現況の分析と評価」「目標の明確化」を行い、実施計画(案)を作成した後に着手する。

位置図

斐伊川河口左岸出島地先



航空写真



現況写真



●出島地先のヨシ植生帯による浅場整備箇所



●斐伊川河口左岸に広がる砂洲

1976年



2003年



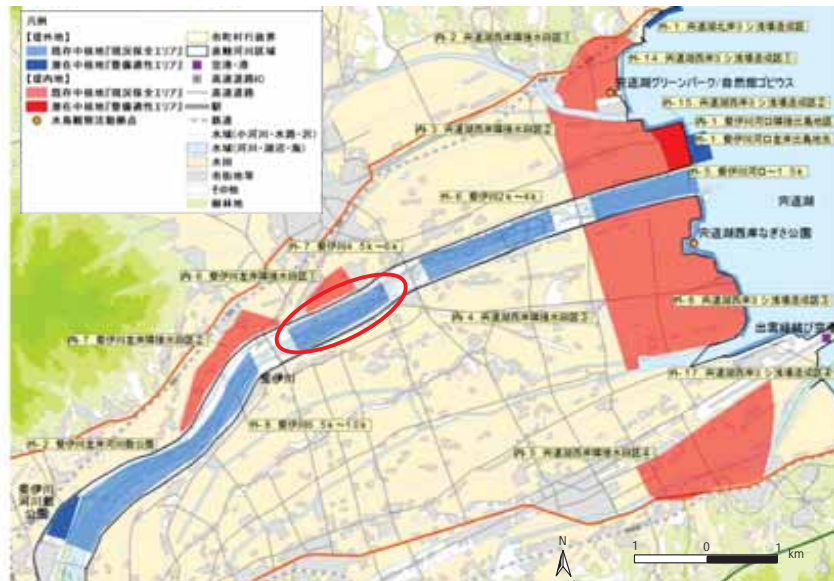
国土地理院提供

斐伊川水系生態系ネットワーク 保全・整備拠点事業地区 候補地検討シート 1/2

◎	堤外地	地区名称:斐伊川4.5k~6k付近(西代橋下流左岸周辺)	現況保全エリア・整備適性エリア	●関連環境施策・活動の実施状況	※国・県・市ノ民間団体・企業等の主体別連携可能性
	堤内地	地区名称:	現況保全エリア・整備適性エリア	斐伊川水系でヒシクイが比較的良好観察可能であるのが当該エリアの牧草地であることから、バードウォッチャーによる堤防上からの観察利用があるが、現時点ではほとんど知られていない。	
	所在地等	島根県出雲市灘分町~西代町(右岸地先)	概ねの面積	ha	
	土地所有	官地(占有):占有あり	民地: 個人所有・法人所有	民地あり	
	事業・管理者	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所			
指標鳥類等の 生息概要 <過去~現在>	ハクチョウ類	コハクチョウが中州を休息地や囀として利用			
	ガン類	ヒシクイが牧草地と隣接水田を採食地・休息地、中州を囀や休息地として利用			
	ツル類	まれにマナヅル・ナベヅルが中州を休息地や囀として利用			
	コウノトリ	-			
	トキ	-			
	その他				
	ネットワーク機能	コアエリア【中核生息地】: 現況・潜在	コリドー【移動休息地】: 現況・潜在	●アクセスおよび周辺(主要施設・観光拠点等)情報 ※一体的地域活性化方策の可能性	
	生息環境機能	現況: 採食地(囀) 移動休息地	潜在: 採食地・囀・移動休息地・営巣地	<ul style="list-style-type: none"> 一畑電車北松江線 雲州平田駅より車で11分 山陰本線 直江駅より車で14分 宍道湖グリーンパークより車で15分 宍道湖自然館ゴビウスより車で15分 平田一式飾ほんまち展示館より車で12分 平田本陣記念館より車で14分 出雲キルト美術館より車で10分 	
自然環境条件	堤外地	水系: 神戸川・斐伊川・宍道湖・大橋川・中海・境水道・県管理(流水・中州寄洲・干潟泥湿地・浅水域・抽水植生帯・ワンド・池沼・低草草地・水辺林)			
	主な自然環境構成要素	公園:なし 農地:牧草地(占有) その他:左岸堤防沿いに農業用水路が延びている			
	堤内地	河川水路・池沼溜池・草地・樹林地			
	主な自然環境構成要素	水田(慣行田・環境田*・休耕田・放棄田): 畑地: 公園: 施設: その他:			
社会環境条件	都市開発関連計画	市街化区域・市街化調整区域・その他(非線引き区域等)			
	公園緑地関連計画	都市公園・緑地保全等指定区域:指定等なし			
	農業農村関連計画	農業振興地域・農用地区域 田園環境整備マスタープラン等:設定なし			
	自然環境関連計画	ラムサール条件指定湿地 指定区域・指定地外 鳥獣保護区・鳥獣保護区特別保護地区・銃猟禁止区域・休猟区・可猟地域 鳥獣保護事業計画:第11次鳥獣保護管理事業計画(島根県,2015) 自然公園等指定区域:指定なし			
				●現地状況	
				<ul style="list-style-type: none"> 斐伊川の中州と左岸に隣接する水田が、ガン・ハクチョウ類・ツル類の囀や休息地、採食地として利用されている。 特に、希少性・固有性の高いヒシクイ越冬群が、左岸河川敷の占有牧草地を、採食地や休息地として利用し、保全重要性の高い場所となっている。 ヒシクイの採食地等になっている牧草地は、堤防に沿って水路(鯨の尾)が存在することから、人や犬等が直接近づけない条件をそろえている。 	
				◎求められる整備内容と課題	
				【鳥類ワーキング(島根エリア)での意見】 <ul style="list-style-type: none"> 採草地の占有者との調整・理解を図り、ヒシクイの採食地としての牧草地管理や、水たまりとなる部分的な凹地の確保などのヒシクイ生息地の安定的な保全策を進めることが望ましい。 水路(鯨の尾)沿いの必要箇所に、ヨシ等の緩衝帯を設け、堤防からの人の影響を軽減することが望ましい。 改修工事によりヒシクイの生息が不安定になる可能性もあるため、工事等の影響が予測される場合は事前に配慮する対策が必要となる。 	
				【課題】	
				<ul style="list-style-type: none"> 占有者(出雲市等)との調整。 水路(鯨の尾)の管理者(出雲市)との調整。 	
				【対応】	
				<ul style="list-style-type: none"> 拠点地区として、牧草地占有者との調整に着手し、鳥類から見た牧草地管理の必要性の理解を求め、牧草地管理の徹底を行う。 水路(鯨の尾)は農業用取水路であり今後も永年的に取水実施と聞いているところであるが、鳥類から見た必要性の理解も求め、水路管理徹底を行う。 工事等の影響を予測し、対策を施す行為を徹底して行う。 水たまりとなる部分的な凹みや緩衝帯の整備については、「現況の分析と評価」「目標の明確化」を行い、実施計画(案)を作成した後に着手する。 	

位置図

斐伊川4.5k~6k(西代橋下流左岸周辺)



航空写真



現況写真



●牧草地で休息するヒシクイの群れ

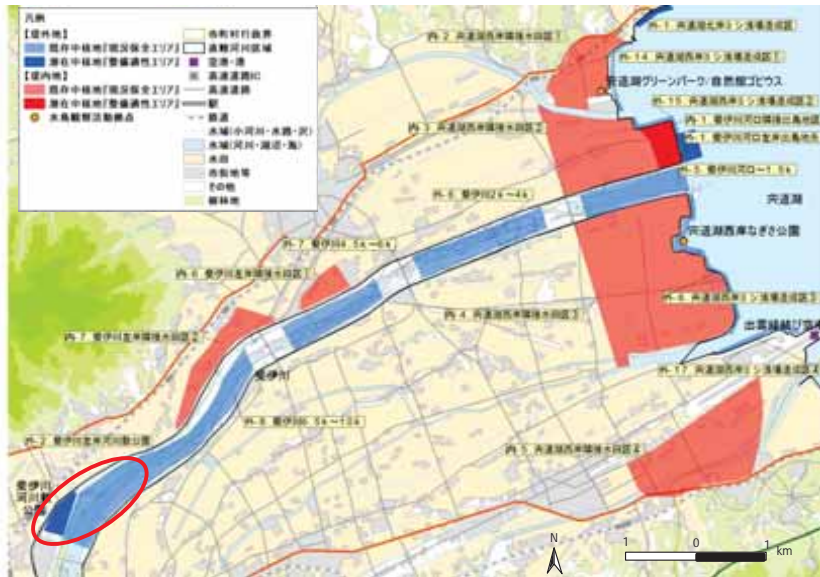


●堤防と牧草地の間に水路(鯨の尾)のある西代橋下流

斐伊川水系生態系ネットワーク 保全・整備拠点事業地区 候補地検討シート 1/2

◎	堤外地	地区名称:斐伊川9k~10k付近(左岸斐伊川河川敷公園下流)	現況保全エリア・整備適性エリア	●関連環境施策・活動の実施状況	※国・県・市／民間団体・企業等の主体別連携可能性
	堤内地	地区名称:	現況保全エリア・整備適性エリア	斐伊川の中でも橋などの工作物から離れ、ダイナミックな河川環境が最も良く残っている場所であるが、現時点でこうした特性を踏まえた活用や活動等は確認されていない。	
	所在地等	島根県出雲市武志町～東林木町(左岸地先)	概ねの面積	ha	
	土地所有	官地(占有):占有あり	民地: 個人所有・法人所有	民地あり	
	事業・管理者	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所			
指標鳥類等の 生息概要 <過去～現在>	ハクチョウ類	コハクチョウの囀や休息地として利用			
	ガン類	マガン・ヒシクイの囀や休息地としての利用			
	ツル類	まれにツル類が囀・休息地として利用			
	コウノトリ	-			
	トキ	-			
	その他				
	ネットワーク機能	コアエリア【中核生息地】: 現況・潜在	コリドー【移動休息地】: 現況・潜在		
	生息環境機能	現況: 採食地・囀・移動休息地	潜在: 採食地・囀・移動休息地・営巣地		
自然環境条件	堤外地	水系: 神戸川・斐伊川・宍道湖・大橋川・中海・境水道・県管理()			
	主な自然環境構成要素	流水・中州・干潟泥湿地・浅水域・抽水植生帯・ワンド・池沼・低草草地・水辺林公園:斐伊川河川敷公園(出雲市占有)			
		農地: 牧草地			
		その他: ラジコン飛行場(出雲ラジコンクラブ)			
	堤内地	河川水路・池沼溜池・草地・樹林地			
主な自然環境構成要素	水田(慣行田・環境田*・休耕田・放棄田):				
	畑地:				
	公園:				
	施設:				
	その他:				
社会環境条件	都市開発関連計画	市街化区域・市街化調整区域・その他(非線引き区域等)			
	公園緑地関連計画	都市公園・緑地保全等指定区域:)			
	農業農村関連計画	農業振興地域・農用地区域 田園環境整備マスタープラン等: 設定なし			
	自然環境関連計画	ラムサール条件指定湿地 指定区域・指定地外 鳥獣保護区・鳥獣保護区特別保護地区・銃猟禁止区域・休猟区・可猟地域 鳥獣保護事業計画: 第11次鳥獣保護管理事業計画(島根県、2015) 自然公園等指定区域: 指定なし)			
●アクセスおよび周辺(主要施設・観光拠点等)情報 ※一体的地域活性化方策の可能性					
<ul style="list-style-type: none"> 一畑電車北松江線 旅伏駅より車で8分 山陰本線 直江駅より車で8分 山陰自動車道 斐川ICより13分 宍道湖グリーンパークより車で15分 宍道湖自然館ゴビウスより車で15分 平田一式飾ほんまち展示館より車で10分 平田本陣記念館より車で12分 出雲キルト美術館より車で7分 出雲弥生の森博物館より車で12分 					
●現地状況					
<ul style="list-style-type: none"> 斐伊川の流れが大きく西へ曲がる河川敷の広い場所に当り、大きな中州とそれを囲む草地や河畔林が広がる自然性の高いエリア。 広大な中州等を、ガン・ハクチョウ・ツル類等が囀や休息地として利用する。 斐伊川河川敷公園下流に位置し、隣接してラジコン飛行場がある。 斐伊川河川敷公園に接して河道沿いに、細長く民地が存在している。 					
◎求められる整備内容と課題					
【鳥類ワーキング(島根エリア)での意見】					
<ul style="list-style-type: none"> 大型水鳥類への影響が大きいラジコン飛行場については、上流側の斐伊川河川敷公園周辺等への移設等の調整が望ましい。 樹木群の適正な維持・保全。伐採により緩衝帯としての樹木群が薄くなりすぎると、水鳥生息環境としては好ましくない。 					
【課題】					
<ul style="list-style-type: none"> ラジコン飛行場の利用者との調整。 流下能力の維持及び樹木伐採時の配慮。 					
【対応】					
<ul style="list-style-type: none"> 拠点地区として、ラジコン飛行場利用者の合意を得て、移設を行う。 治水上必要な箇所については、伐採を行う必要もあるが、拠点地区として適正に樹木管理を行う。 					

位置図



航空写真



現況写真

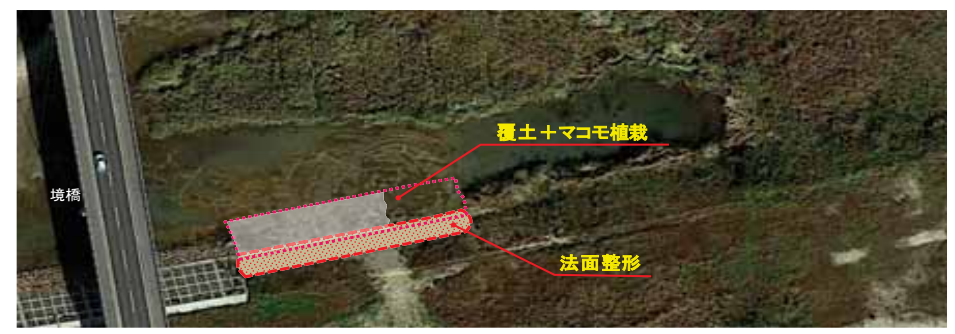


斐伊川水系生態系ネットワーク 保全・整備拠点事業地区 候補地検討シート 1/2

◎	堤外地	地区名称:神戸川 境橋(4.4k)~神戸堰(7.4k)	現況保全エリア・整備適性エリア	●関連環境施策・活動の実施状況	※国・県・市/民間団体・企業等の主体別連携可能性
	堤内地	地区名称:	現況保全エリア・整備適性エリア	●日本野鳥の会鳥根県支部会員等による任意のバードウォッチングが行われている。	
	所在地等	鳥根県出雲市西園町~東園町~下横町~高松町(右岸地先水面)	概ねの面積	98ha	・近隣の関連施設や活動団体は、以下の通り。
	土地所有	官地(占有):直轄	民地:個人所有・法人所有	出雲市:出雲市トキ分散飼育センター(所管:出雲市)は、飼育ケージ(1,040 m ²)、作業室及び事務室等からなり、トキ分散飼育事業を実施している。	
	事業・管理者	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所			
指標鳥類等の 生息概要 <過去~現在>	ハクチョウ類	4.4km程下流の河口付近では、かつてオオハクチョウが越冬			
	ガン類	-			
	ツル類	3km程下流の河川敷と周辺水田で、マナヅル・タンチョウの飛来滞在記録あり			
	コウノトリ	-			
	トキ	-			
	その他				
ネットワーク機能	コアエリア【中核生息地】: 現況・潜在		コリドー【移動休息地】: 現況・潜在		●アクセスおよび周辺(主要施設・観光拠点等)情報
生息環境機能	現況:採食地・囀・移動休息地		潜在:採食地・囀・移動休息地・営巣地		※一体的地域活性化方策の可能性
自然環境条件	堤外地	水系:(神戸川)斐伊川・宍道湖・大橋川・中海・境水道・県管理(流水・中州寄洲・干潟泥湿地・浅水域・抽水植生帯・ワンド・池沼・低葎草地・水辺林)			
	主な自然環境構成要素	公園:なし 農地:なし その他:旧堤防撤去後の現堤防沿いの河川敷拡張地では、広域除草管理が毎年実施されている			
	堤内地	河川水路・池沼溜池・草地・樹林地 水田(慣行田・環境田*・休耕田・放棄田):			
	主な自然環境構成要素	畑地: 公園: 施設: その他:			
社会環境条件	都市開発関連計画	市街化区域・市街化調整区域・その他(非線引き区域等) 都市マスタープラン:出雲市都市計画マスタープラン(2010)			
	公園緑地関連計画	都市公園・緑地保全等指定区域:指定等なし			
	農業農村関連計画	農業振興地域・農用地区域 田園環境整備マスタープラン等:設定なし			
	自然環境関連計画	ラムサール条件指定湿地 指定区域・指定地外 鳥獣保護区・鳥獣保護区特別保護地区・銃猟禁止区域・休猟区・可猟地域 鳥獣保護事業計画:第11次鳥獣保護管理事業計画(鳥根県、2015) 自然公園等指定区域:指定なし			
●現地状況					
・斐伊川放水路事業により神戸川堤防が引堤され、旧神戸川の河道の名残りが見られる広い河川敷が存在する。					
・河道沿いには、ワンドやたまりが現存する他、神戸堰下流の浅水域も見られ、放水路合流地点より下流の神戸川では最も自然性が高い区間である。					
・サギ類、カモ類といった水辺で生息する鳥類が多く確認されており、放水路運用後も自然環境が良好に保たれている空間である。					
◎求められる整備内容と課題					
【鳥類ワーキング(鳥根エリア)での意見】					
・高水敷は、除草管理を行わなければ樹林化する懸念があるため、その抑制を兼ねたワンド・たまり・浅水域等の多様な湿地環境の創出整備が望ましい。					
・現況の良好な水辺環境の保全と多様な湿地環境の創出を行い、水際へのマコモ等の植栽・育成による植生帯の形成を進めることで、ハクチョウ・ガン類やコウノトリ等の飛来地となることが期待される。					
【課題】					
・樹林化抑止と掘削による湿地整備の一体的な進め方の検討。					
・湿地帯等整備箇所の特定と、治水構造物や希少種生息などへの配慮事項の検討。					
・流下能力の維持					
【対応】					
・拠点地区として、樹林化抑制のため樹木管理は継続的に実施。今後も適正な樹木管理を行うとともに既にあるワンド環境の保全を行う。					
・干潟・ワンド等の多様な環境の整備については、「現況の分析と評価」「目標の明確化」を行い、実施計画(案)を作成した後に着手する。					



●平成27年度 試験施工地区



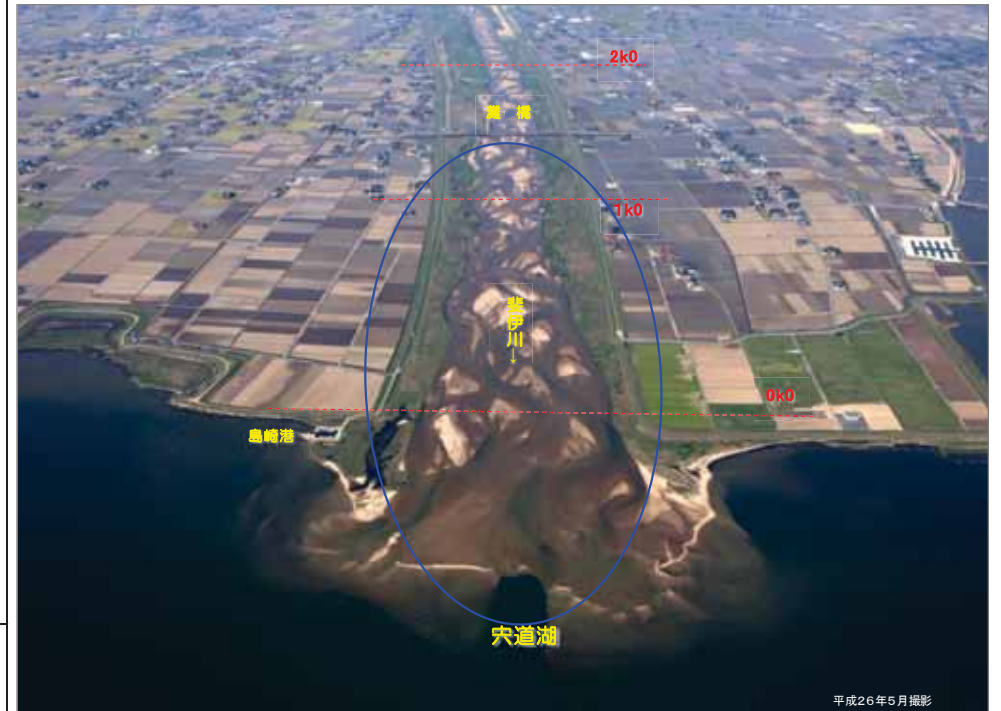
参 考 【鳥類ワーキングで話題に上ったエリア】

地区名称: 斐伊川河口～1.5k

位置図



航空写真



現況写真



●斐伊川河口付近の中州



●中州を休息地として利用するマガンの群れ

- ・ガン・ハクチョウ類等の休息・中継地として重要な中州の、効果的な除草抑草管理が望まれる。
- ・堤防と河道までの間のヨシ等の植生帯は、人の影響を軽減するための積極的な保全育成が望まれる。
- ・釣り人等の河口部への侵入により大型水鳥類に悪影響が生じることから、立ち入り制限などの調整が望まれる。

参 考 【鳥類ワーキングで話題に上ったエリア】

地区名称: 宍道湖西北岸(園町・鹿園寺周辺)地区

位置図



航空写真



現況写真



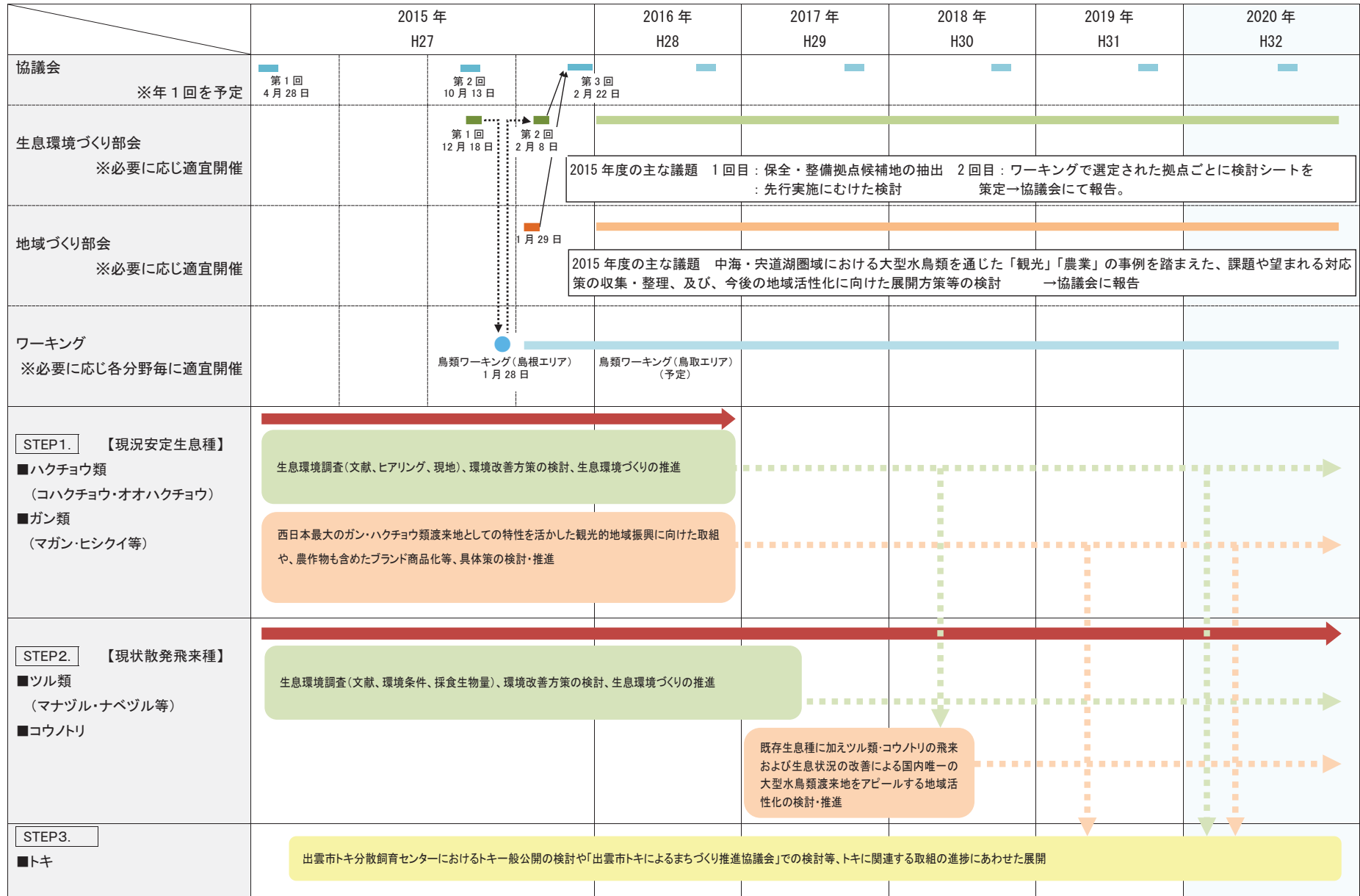
●宍道湖北岸ヨシ植生帯整備地区



- ・ヒシクイの群れが、避難・休息地として斐伊川より飛来し、湖面や湖岸を利用する。
- ・湖岸に接したサイクリングロード等との間に、目隠しとなる植栽等の緩衝帯を設けることにより、水鳥類生息地としての適性が向上すると考えられる。

今後のスケジュールについて(案)

愛知目標達成年
生物多様性国家戦略
2012-2020 達成年



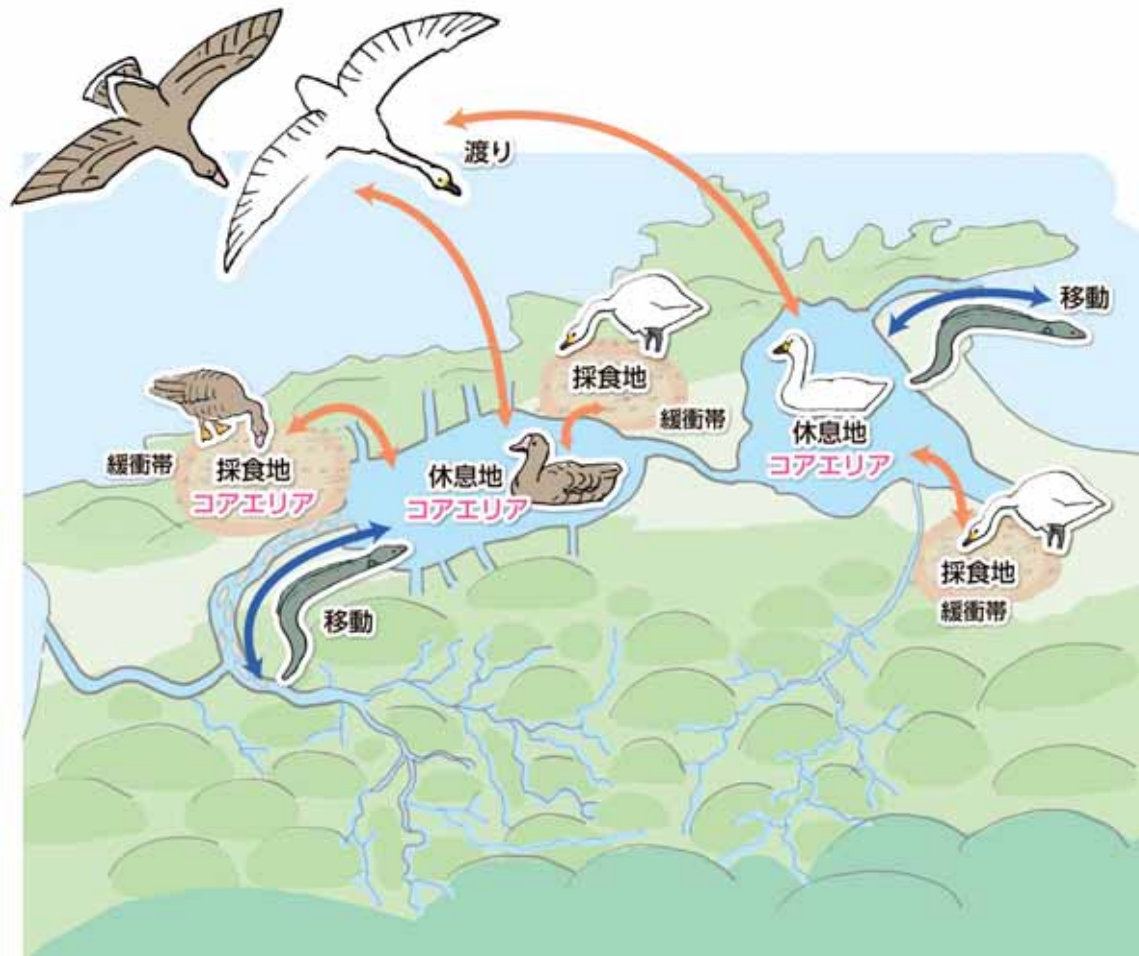
凡例
「生息環境づくり部会」の取組
「地域づくり部会」の取組

(参考)生態系ネットワークとは

野生の生きものは、採食地や繁殖の場、休息する場など、さまざまな場を必要とし、それらの間を行き来・交流しながら、個体としての生活史や個体群を維持している。多様な野生の生きものが生息できる自然生態系を、健全かつ安定的に存続させるためには、

生きものの生息に十分な規模の「核となる地域(コアエリア)」、および、それを取り巻く「緩衝帯(バッファゾーン)」を適切に配置・保全するとともに、これらの生物生息・生育空間の「つながり(コリドー)」を確保すること、

すなわち、生態系ネットワーク(=エコロジカル・ネットワーク)を形成していくことが有効である。



コアエリア：【中核生息地】

動物の繁殖のための巣や食物を採る場所、休息をとる場所など、保全上中核となる場所のこと。

コリドー：【移動・中継経路】

コアエリアの間の行き来を可能とする回廊環境のこと。

バッファゾーン：【緩衝帯】

コアエリアやコリドーの周辺地域で、外部からの負の影響を緩和する役割を果たす地帯のこと。

- 凡例
- コアエリア
 - バッファゾーン
 - コリドー

